

2025年度

徳田13号線1号橋

福山市 神辺 町 地内

橋梁修繕工事 実施設計書

当初設計		
工 事 概 要	工事延長	L=3.2m
	橋長	L=3.2m
	有効幅員	W=6.1m
	ひび割れ補修工	L=0.6m
	断面修復工	A=3m <sup>2</sup>
	表面含浸工	A=8m <sup>2</sup>
	塗替塗装工	A=10m <sup>2</sup>
	橋面防水工	A=21m <sup>2</sup>

## 特記仕様書

### 第1章 総則

#### 第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（徳田13号線1号橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

#### 第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

#### 第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

#### 第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

#### 第5節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

#### 第6節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

#### 第7節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

### 第2章 施工条件

#### 第1節 検査期間

- ・本工事は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

#### 第2節 鋼部材の既設塗料に含まれる物質

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料には下表に示す物質が含有していることが事前調査で判明している。

物質名	: 含有量
鉛	: 1900mg/kg
六価クロム	: 50mg/kg未満（定量下限値未満）
PCB	: 9.4mg/kg

#### 第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

#### 第4節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
  - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
  - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
  - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
  - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
  - 6 積算方法は次のとおりとする。
    - (1) 補正方法
      - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
      - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
      - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
    - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
  - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
  - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

#### 第5節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：剥離剤用養生シート工、ばく露防止対策（保護具）

#### 第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

#### 第7節 特別管理産業廃棄物（既設塗料の剥離やかき落とし作業で発生する廃棄物）PCB含有量基準値超え

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料にはPCBが含有しているため、塗替塗装の剥離やかき落とし作業で発生する既設塗料の廃棄物（以下、塗料廃棄物）は特別管理産業廃棄物となる。
- ・特別管理産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。さらに、PCBを含有する廃棄物は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」（以下、PCB特措法）を厳守し、適正に処理しなければならない。
- ・塗料廃棄物は鋼製のドラム缶またはペール管に密閉して保管し、速やかに処分するものとする。また、使用した作業服等の保護具も同様に保管して処分するものとする。
- なお、本工事における作業服等の防護具の購入・処分の積上げ数量は、対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な数量を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による防護具の購入・処分の積上げ数量の増加に対する変更は行わない。
- ・上記のほか、塗料廃棄物の保管・収集・運搬については、「低濃度PCB廃棄物収集・運搬ガイドライン（令和25年6月）」に基づいて行うものとする。

### 第3章 その他

#### 第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

#### 第2節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、福山市週休2日適用工事の実施について対象外とします。

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 70 福山市 00-07.09.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
充てん工法 【材料種類】	1	式			Y1G03240401 レベル4
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合		構造物			S1020031 00
断面修復工	1	構造物			単第0 -0001 表
断面修復工					Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	式			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.143m3		構造物			S1020045 00
	1	構造物			単第0 -0002 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工					Y1G032706 レベル3
	1	式			
コンクリートはつり 【平均はつり厚】					Y1G03270605 レベル4
		m2			
積込(コンクリート殻)					SPK25040113 00
	0.1	m3			単第0 -0003 表
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】					Y1G03271601 レベル4
		m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)					SPK25040155 00
	0.1	m3			単第0 -0004 表
殻処分 【殻種別】					Y1G03271602 レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入					T9005 00
	0.3	t			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含浸工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
下地処理					Y1G03240601 レベル4
		橋			
下地処理					F000000100 00
	8	m2			
含浸材塗布 【材料種類】					Y1G03240602 レベル4
		橋			
表面含浸工（含浸材塗布）					V000000100 00
	8	m2			単第0 -0005 表
現場塗装工					Y1G0325 レベル2
	1	式			
橋梁塗装工					Y1G032501 レベル3
	1	式			
塗膜除去工 【素地調整種類】					Y1G03250101 レベル4
		m2			
塗膜除去工					V000000200 00
	21	m2			単第0 -0006 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水系塗膜剥離剤 バイオハクリX-WB相当品	21	kg			F000000500 00
回収・積込工 【素地調整種類】		m2			Y1G03250101レベル4
剥離剤及び塗膜かす回収・積込工	21	m2			V000000300 00 単第0 -0007 表
素地調整 【素地調整種類】		m2			Y1G03250101レベル4
塗替塗装 素地調整	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0008 表
防食下地 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0009 表
下塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0010 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
中塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250103 レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0011 表
上塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250104 レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0012 表
塗膜くず集積工	1	式			Y1G032716 レベル3
塗膜くず集積工		m3			Y1G03271601 レベル4
パール缶 天蓋取り外し式バンドタイプ フタ・バンド付	3	個			F000001500 00 20L
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
排水施設工	1	式			Y1G032103 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水切り設置工 【柵規格】		箇所			Y1G03210301 レベル4
水切設置工 橋梁床版用後付け型水切 ウォーターカット 1橋当り20m未満	1	橋			V000000400 00 単第0 -0013 表
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
橋面防水工	1	式			Y1G030406 レベル3
薄層舗装		m2			Y1G03040607 レベル4
マルチフレッシュ工法（高浸透型複合防水工	21	m2			V000000700 00 単第0 -0014 表
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
防塵対策工	1	式			Y1G032814 レベル3
防塵対策工		m2			Y1G03281401 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防塵対策工					V000000800 00
	1	式			単第0 -0017 表
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	3	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
安全費					Z0009
安全費					YZZ09 レベル2
	1	式			
安全費					YZZ09001 レベル3
	1	式			
呼吸用保護具等費用					YZZ09001002 レベル4
		式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ばく露防止対策					V000000900 00
	1	式			単第0 -0020 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分					前払補正率...
計算情報..... 対象額..... 率.....					
契約保証費					当初請対額 当初対象額
計算情報..... 対象額..... 率.....					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1/7	縮尺	S=1:10000
工種	橋梁修繕工事		
種別	位置図		
橋梁名	徳田13号線1号橋		
施工箇所	福山市神辺町地内		

# 位置図





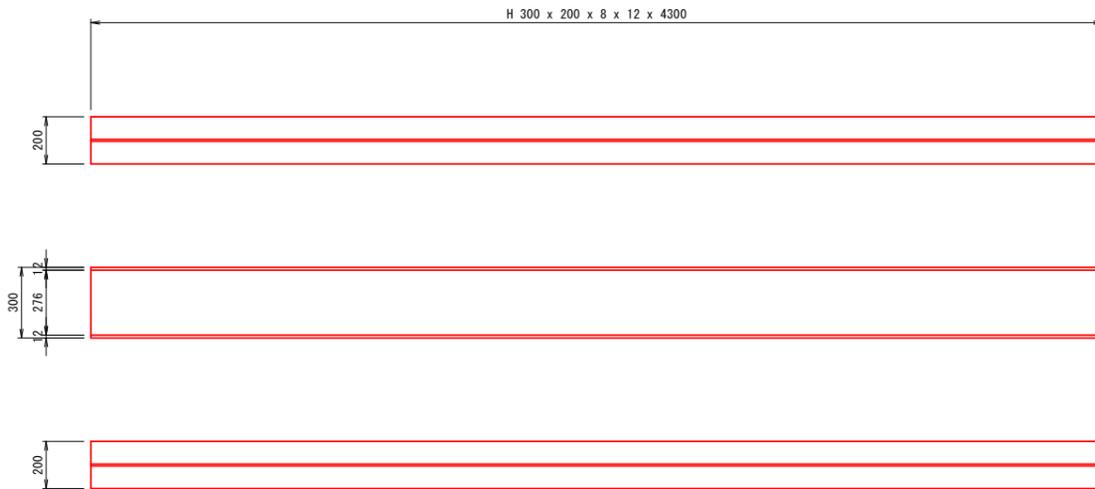
図面番号	3 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	構造図	番号	1 / 1
橋梁名	徳田13号線1号橋		
工事箇所	福山市 神辺町		
<b>福山市</b>			

※ 支承の固定及び可動は不明である。  
 ※ 本図は現地計測結果をもとに作成した復元図である。

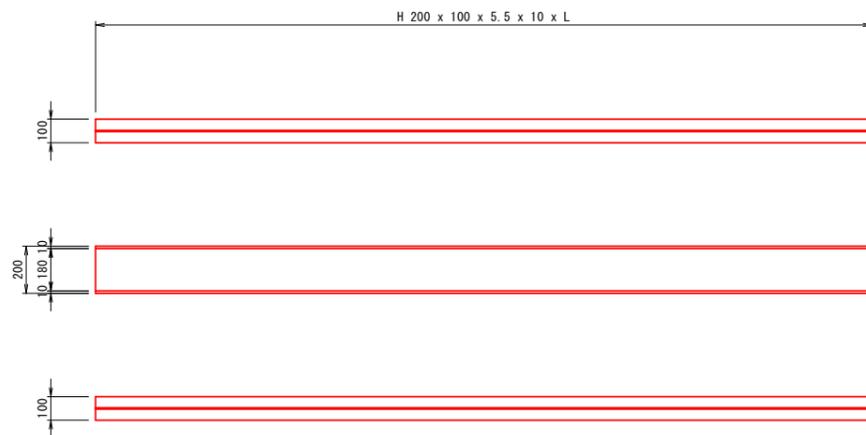
## 徳田13号線1号橋 構造図 S=1:15

### 主桁 (G1) S=1:15

A1→A3 50%縮小印刷



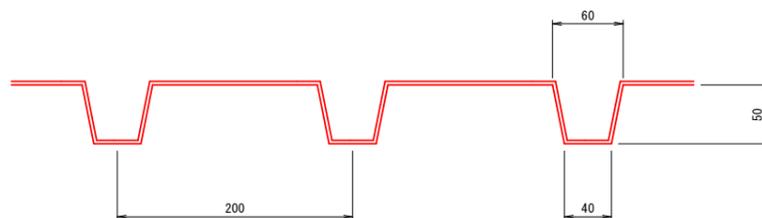
### 主桁 (G2-G5), 縦桁 (St1) S=1:15



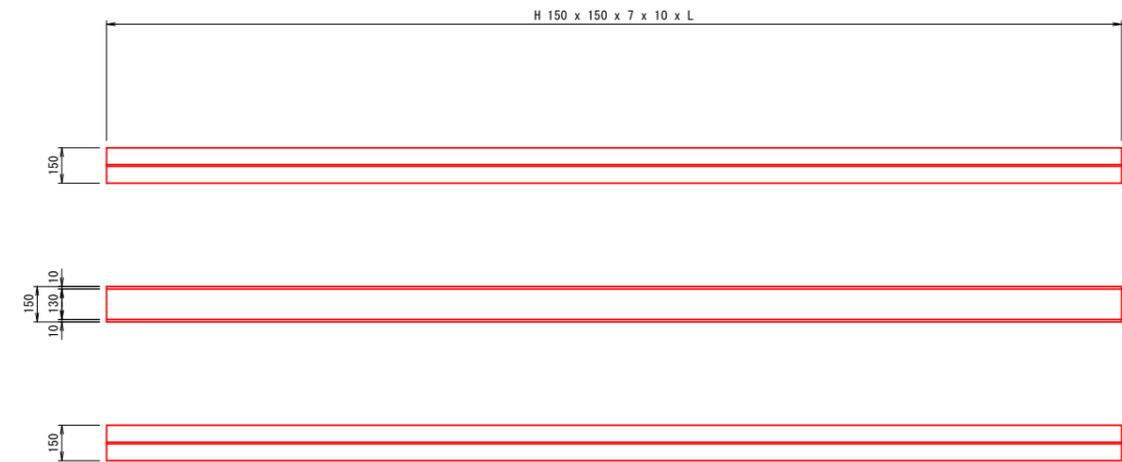
主桁	L
G2	1900
G3-G5	3300
St1	2730

単位: mm

### デッキプレート詳細図 S=1:3



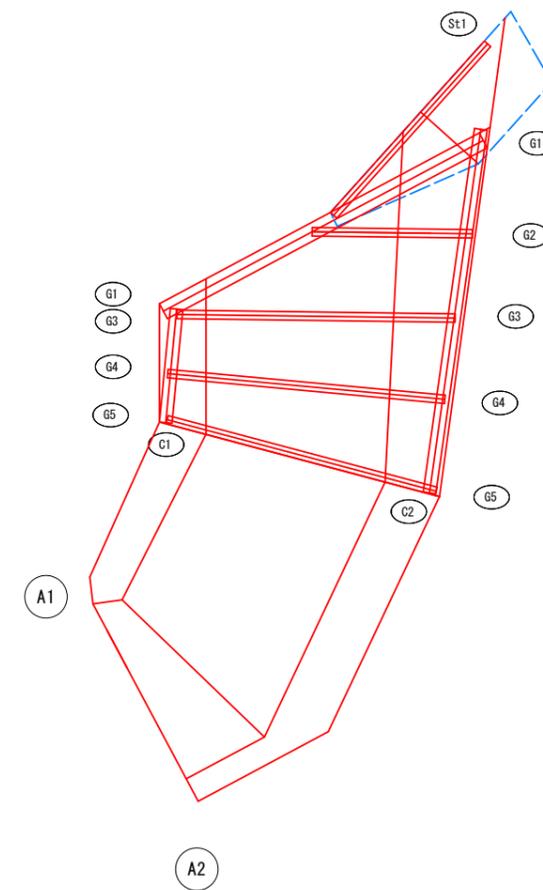
### 横桁 (C1, C2 主桁受け台) S=1:15



横桁	L
C1	1350
C2	4315

単位: mm

### 鋼部材配置図



図面番号	4 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その1)	番号	1 / 3
橋梁名	徳田13号線1号橋		
工事箇所	福山市 神辺町		
<b>福山市</b>			

A1→A3 50%縮小印刷

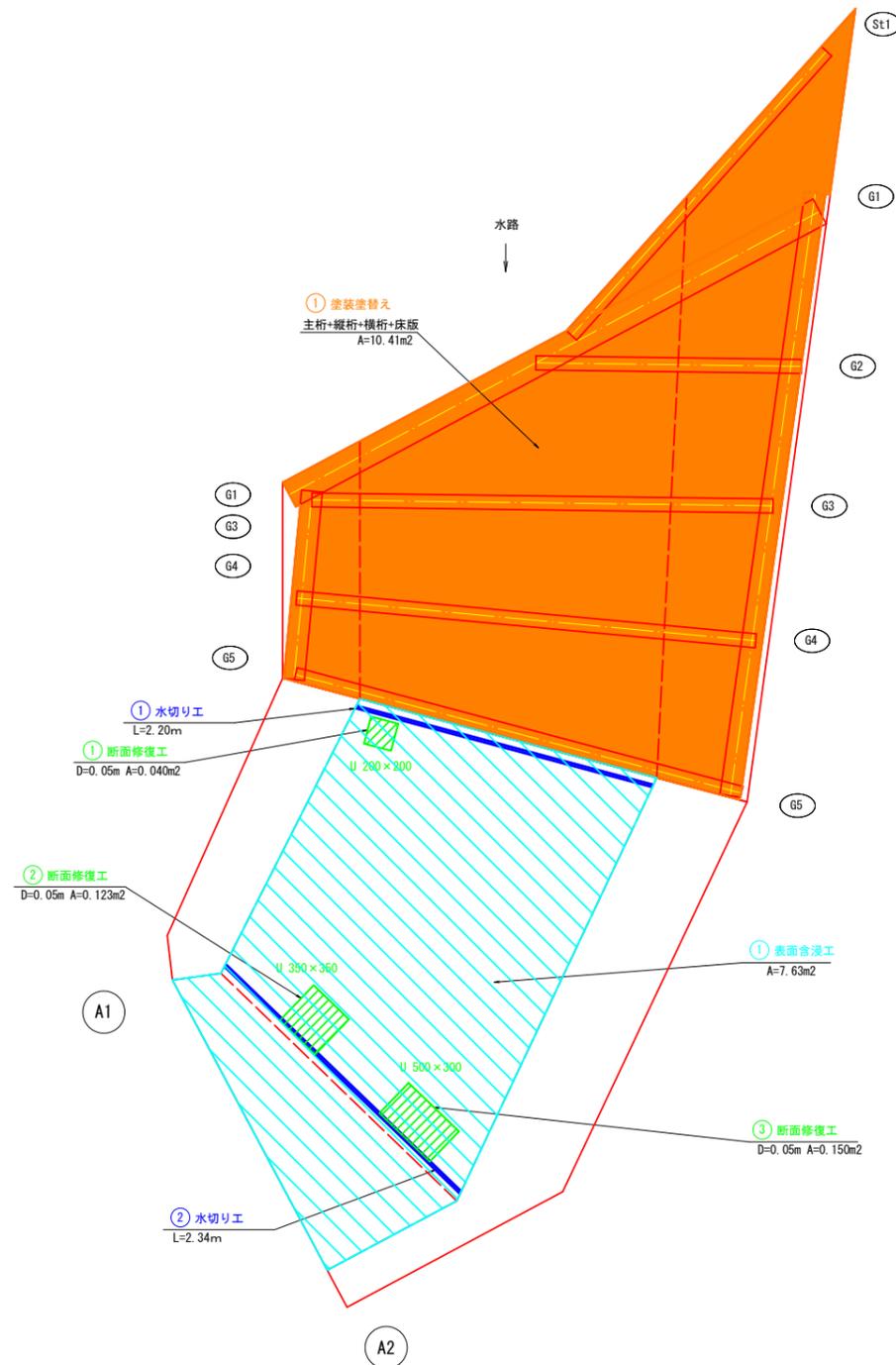
注記  
 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後施工を行うこと。

## 徳田13号線1号橋 補修図(その1) S = 1:25

### 凡例

	長さ (m)	ひびわれ注入工	0.1mm≦W<0.2mm
	長さ (m)	ひびわれ注入工	0.2mm≦W<1.0mm
	長さ (m)	ひびわれ充填工	1.0mm以上
	断面修復工	W(m) x L(m)	D(mm)
	表面含浸工	W(m) x L(m)	
	水切り	L(m)	
	舗装復旧	W(m) x L(m)	
	遊装(RG-1)	W(m) x L(m)	
	その他	W(m) x L(m)	

### 桁下面



※塗装塗り替え部分には、剥離剤養生シートを11.1m2分(任意仮設)見込んでいる。

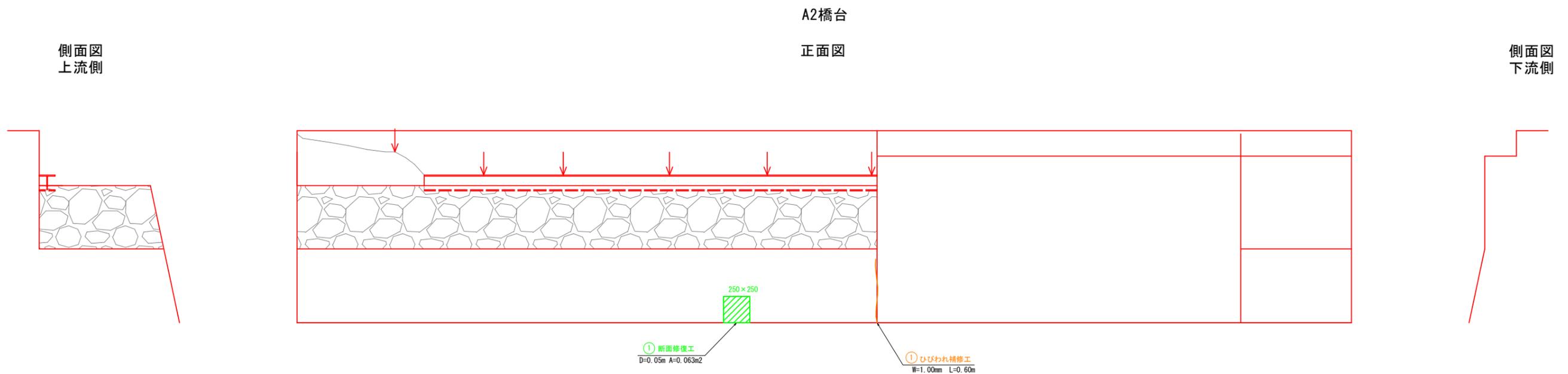
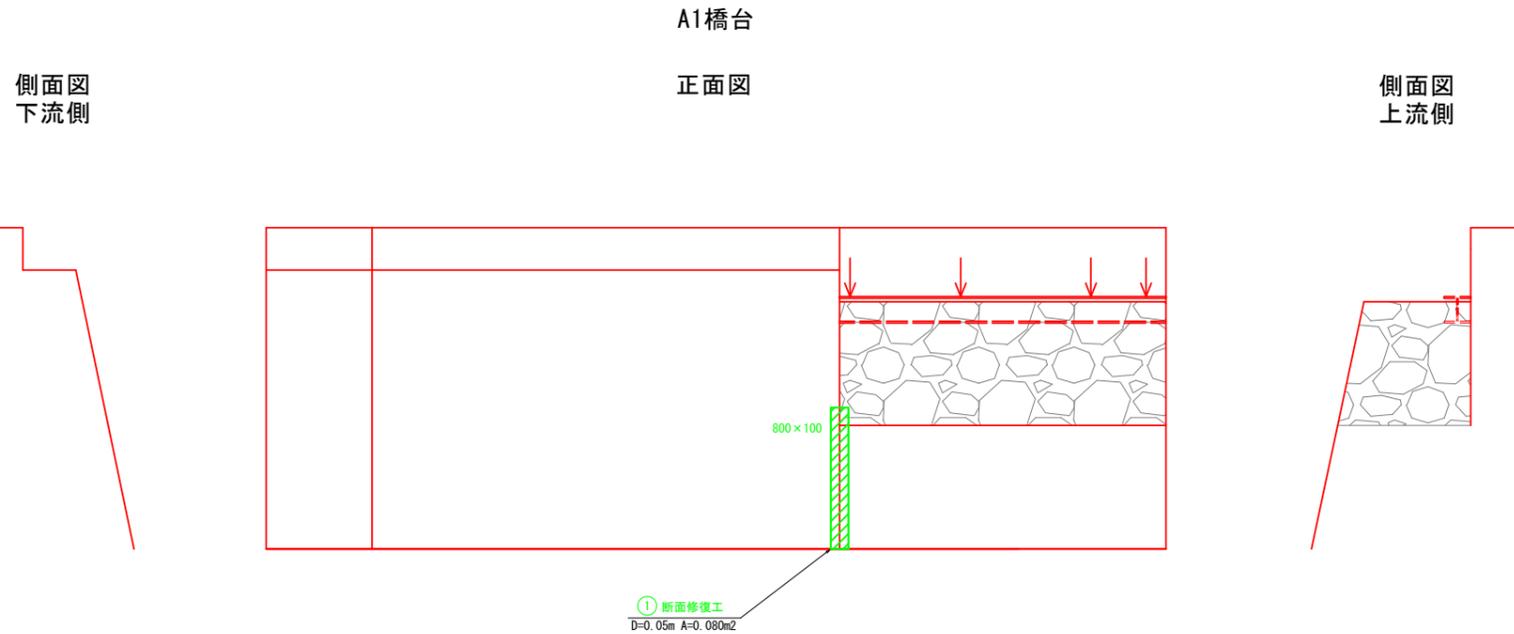
図面番号	5 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その2)	番号	2 / 3
橋梁名	徳田13号線1号橋		
工事箇所	福山市 神辺町		
<b>福山市</b>			

A1→A3 50%縮小印刷

注記  
 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後施工を行うこと。

## 徳田13号線1号橋 補修図(その2) S = 1:20

	長さ (m)	ひびわれ注入工 0.1mm≦W<0.2mm W(m) / L(m)
	長さ (m)	ひびわれ注入工 0.2mm≦W<1.0mm W(m) / L(m)
	長さ (m)	ひびわれ充填工 1.0mm以上 W(m) / L(m)
	断面修復工 W(m) x L(m)	D(mm)
	表面含浸 W(m) x L(m)	
	水切り L(m)	
	舗装復旧 W(m) x L(m)	
	その他 W(m) x L(m)	

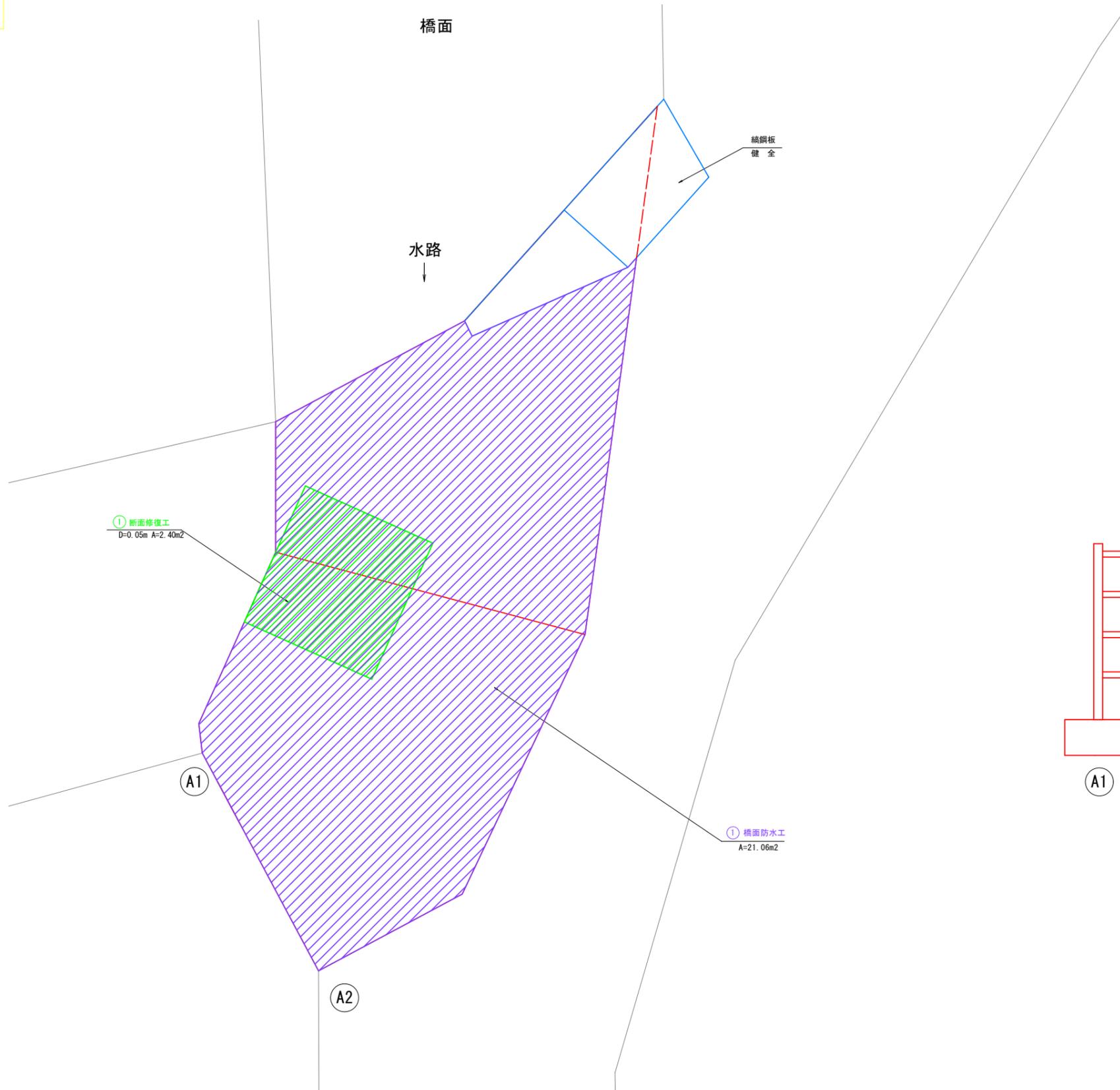


図面番号	6 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その3)	番号	3 / 3
橋梁名	徳田13号線1号橋		
工事箇所	福山市 神辺町		
<b>福山市</b>			

A1→A3 50%縮小印刷

注記  
 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後施工を行うこと。

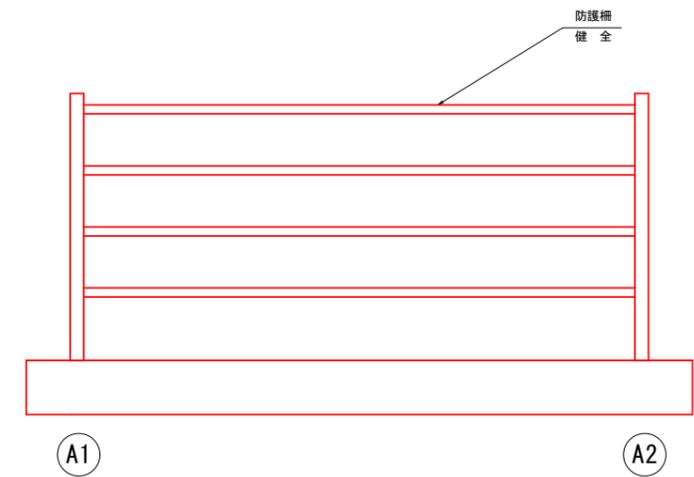
### 徳田13号線1号橋 補修図(その3) S = 1:25



### 凡例

	長さ (m)	ひびわれ注入工 0.1mm≦W<0.2mm W(m) / L(m)
	長さ (m)	ひびわれ注入工 0.2mm≦W<1.0mm W(m) / L(m)
	長さ (m)	ひびわれ充填工 1.0mm以上 W(m) / L(m)
	断面修復工 W(m) x L(m)	D(mm)
	表面含浸 W(m) x L(m)	
	水切り L(m)	
	舗装復旧 W(m) x L(m)	
	遊装(RG-11) W(m) x L(m)	
	その他 W(m) x L(m)	

### 防護柵詳細図 S = 1:15



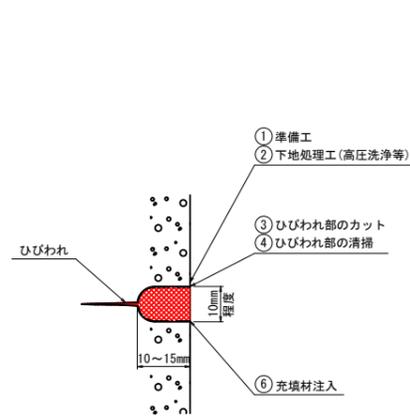
図面番号	7 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修詳細図	番号	1 / 1
橋梁名	徳田13号線1号橋		
工事箇所	福山市 神辺町		
福山市			

注記  
 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後施工を行うこと。

## 徳田13号線1号橋 補修詳細図

A1→A3 50%縮小印刷

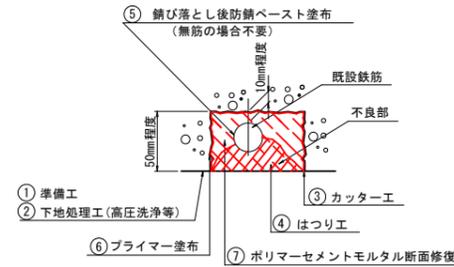
### ひびわれ充填工標準図



#### ひびわれ充填工 施工フロー

1. 調査工-準備工
- ↓
2. 高圧水洗浄工
- ↓
3. ひびわれ部のカット
- ↓
4. ひびわれ部の清掃
- ↓
5. 充填材注入
- ↓
6. 仕上げ
- ↓
7. 完了

### 断面修復工標準図



#### 断面修復工 施工フロー

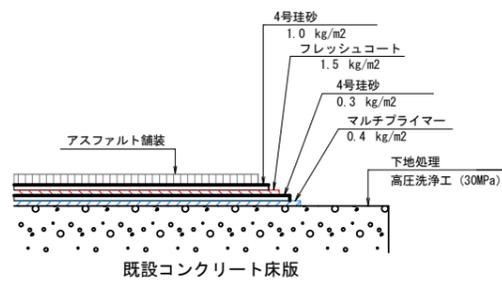
1. 調査工-準備工
- ↓
2. 高圧水洗浄工
- ↓
3. 断面欠損部処理 カッター工
- ↓
4. 断面欠損部処理 はつり工
- ↓
5. 鉄筋の錆落とし、防錆ペースト塗布
- ↓
6. プライマー塗布
- ↓
7. ポリマーセメントモルタル断面修復
- ↓
8. 完了

### 表面含浸工

#### 表面含浸工 施工フロー

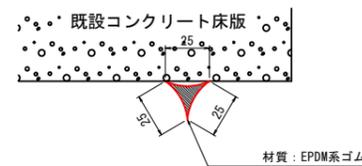
1. 調査工-準備工
- ↓
2. 高圧水洗浄工
- ↓
3. シラン・シロキサン系含浸材
- ↓
4. 完了

### 舗装詳細図 S=1:10



- ・下地処理、接着プライマー及び床版防水材は、地覆側面まで行うこと。
- ・下地温度が-10℃を下回る場合や35℃を超える場合は作業不可。

### 水切工 S=1:2



以下を参考図書とする





# 施工単価表

積込(コンクリート殻)

SPK25040113

単第0 -0003 表

機械構成比: 9.24% 労務構成比: 86.65% 材料構成比: 4.11% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,299.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	9.24%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
普通作業員	78.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	8.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0004 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,475.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		





# 施工単価表

剥離剤及び塗膜かす回収・積込工

V000000300

単第0 -0007 表

頁0 -0017

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう塗装工	2	人			
普通作業員	1	人			
雑材料	20	%			#09
*** 合計 ***	50	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

50 m2 当り













# 施工単価表

マルチフレッシュ工法（高浸透型複合防水工

V000000700

単第0 -0014 表

頁0 -0024

21 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
マルチプライマー工	21	m2			単第0-0015 表
フレッシュコート工	21	m2			単第0-0016 表
土木一般世話役	1.00	人			
防水工	1.00	人			
普通作業員	3.00	人			
諸経費	10	%			#09 ゴムレーキ、養生テープ他
*** 合計 ***	21	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

# 施工単価表

マルチプライマー工

V000000500

単第0 -0015 表

頁0 -0025

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
高浸透型防水材 マルチプライマー 0.35kg/m2	15.00	kg			
珪砂 4号珪砂	5.25	kg			
機材費	20	%			#09 2t車、発電機、溶解釜
*** 合計 ***	21	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

21 m2 当り











徳田13号線1号橋 数量総括表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 細目	単位	設 計 数 量	計 上 量	摘 要
橋梁保全工事								
	橋梁補修工							
		ひび割れ補修工						
			ひび割れ補修工	補修延べ延長20m未満	m	0.6	0.6	
		断面修復工						
			断面修復工	左官工法	m3	0.143	0.143	
		構造物取壊し工						
			殻積込	コンクリート殻	m3	0.14	0.1	
		運搬処理工						
			殻運搬	コンクリートとりこわし(DID無 18.5km以下)	m3	0.14	0.1	
			殻処分	コンクリート殻 0.14×2.35	t	0.33	0.3	
		表面含浸工						
			下地処理		m2	7.6	8	
			表面含浸工	シラン系	m2	7.6	8	
現場塗装工								
	橋梁塗装工							
			塗膜除去工		m2	20.8	21	
			水系塗膜剥離剤	バイオハクリX-WB相当品	kg	20.8	21	
			<small>剥離剤及び塗膜 かす回収・積込工</small>		m2	20.8	21	
			塗替塗装	素地調整	m2	10.4	10	
			塗替塗装	防食下地 有機ジンクリッチペイント	m2	10.4	10	
			塗替塗装	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗200g/m2	m2	10.4	10	
			塗替塗装	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗200g/m2	m2	10.4	10	
			塗替塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗140g/m2	m2	10.4	10	
			塗替塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗120g/m2	m2	10.4	10	
		塗膜くず集積工						
			パール缶		個	3.0	3	
橋梁付属物工								
		排水施設工						
			水切設置工	ウォーターカッター	m	4.5	5	
舗装工								
		橋面防水工						
			<small>マルチフレッシュ工法</small>	高浸透型複合防水工	m2	21.1	21	
仮設工								
		防塵対策工						
			防塵対策工		式	1.0	1	
			交通誘導員	交通誘導警備員B	人	3.0	3	
安全費								
		安全費						
			<small>呼吸用保護具等費用</small>	ばく露防止対策	式	1.0	1	

補修数量総括

ひび割れ充填数量

	1.0mm以上～
	m
A2橋台	0.60

上部工断面補修数量

	補修面積	補修体積
	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>
床版下面	0.3	0.016
—	—	—
—	—	—
合計	0.3	0.016

下部工、橋面工断面補修数量

	補修面積	補修体積
	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>
A1橋台	0.1	0.004
A2橋台	0.1	0.003
コンクリート舗装	2.4	0.120
合計	2.6	0.127

塗替塗装工数量 (Rc-II)

	面積 (m <sup>2</sup> )
鋼桁	0.1
床版	10.3
合計	10.4

塗膜除去工  
10.4 × 2回分 = 20.8 m<sup>2</sup>

表面含浸工数量

	面積 (m <sup>2</sup> )
床版	7.6

水切り設置工数量 EPDM系ゴム

	延長 (m)
水切り	4.5

橋面防水設置数量

	規 格	面積 (m <sup>2</sup> )
橋面	表層t=5mm	21.1

交通誘導員

交通誘導警備員B 交替要員なし

3 人

## コンクリート補修材量

1) ひび割れ充填工 20 m未満で1構造物当たり  
充填工法

\* ひび割れ延長 (幅 1.00 mm )

L = 0.60 m 深さは、幅の 200 倍を想定

・ 充填材 (エポキシ樹脂)

$$W = \underset{\text{幅(mm)}}{1.00} \times \underset{\text{深さ(mm)}}{200} \times \underset{\text{延長(m)}}{0.60} \times \underset{\text{比重(kg/m}^3\text{)}}{1.30} \times \underset{\text{ロス率}}{1.20} \div 1000 = 0.19 \text{ kg}$$

下部工

ひびわれ充填 補修図 (その2) より

	番号	損傷名	補修サイズ		
			ひびわれ幅 (mm)		ひびわれ長さ (m)
A2橋台	①	ひびわれ	1.00	-	0.60

上部工

断面修復 補修図（その1）より

	番号	損傷名	補修サイズ	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
			深さ (m)		
床版 下面	①	うき	0.05	0.040	0.002
	②	うき	0.05	0.123	0.006
	③	うき	0.05	0.150	0.008
	合計			0.313	0.016

下部工

断面修復 補修図（その2）より

	番号	損傷名	補修サイズ	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
			深さ (m)		
A1橋台	①	剥離	0.05	0.080	0.004

断面修復 補修図（その2）より

	番号	損傷名	補修サイズ	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
			深さ (m)		
A2橋台	①	欠損	0.05	0.063	0.003

上部工

主桁・縦桁・横桁 構造図より

	番号	部位	損傷面積			数量 (m2)
			断面積 (m2)	×	長さ (m)	
主桁	①	G1	0.0071	×	4.30	0.031
		G2	0.0026	×	1.90	0.005
		G3	0.0026	×	3.30	0.009
		G4	0.0026	×	3.30	0.009
		G5	0.0026	×	3.30	0.009
縦桁		St1	0.0026	×	2.73	0.007
横桁		C1	0.0040	×	1.35	0.005
		C2	0.0040	×	4.32	0.017

小計 = 0.09 m2

床版 補修図(その1)より

	番号	部位	塗装面積		数量 (m2)
			タテ (m)	ヨコ (m)	
床版	①	デッキプレート	※CADより算出		10.319

小計 = 10.32 m2

塗膜くず運搬・処分量

既設塗装数量 (想定: 下塗2層、中塗1層)

$$V=10.4 \times \{0.2\text{kg/m}^2 \times 1.3(\text{比重}) \times 2\text{層} + 0.14\text{kg/m}^2 \times 1.35(\text{比重}) \times 1\text{層}\} = 7.4 \text{ kg}$$

塗膜除去剤数量

$$V=10.4 \times 1.0(\text{kg/m}^2) \times 2(\text{回}) = 20.8 \text{ kg}$$

ペール缶(天蓋取り外し式バンドタイプ 20L)

$$N=3 = 3 \text{ 個}$$

運搬・処分

塗膜くず  $W=7.4+20.8=28.2 = 28.2 \text{ kg}$

保護具関係一式  $W=2.6 = 2.6 \text{ kg}$

剥離剤用養生シート  $W=11.1(\text{シート面積}) \times 0.10 \times 3(\text{回}) = 3.3 \text{ kg}$

ペール缶(塗膜くず用)  $W=28.2/18.3=1.5 = 2.0 \text{ 個}$

ペール缶(保護具等用)  $W=(2.6+3.3)/18.3=0.3 = 1.0 \text{ 個}$

ペール缶  $\Sigma = 3.0 \text{ 個}$

塗膜くず処分: 塗膜くず+ペール缶×2  $\Sigma = 31.6 \text{ kg}$

塗膜くず処分: 保護具等+ペール缶×1  $\Sigma = 7.6 \text{ kg}$

※保護具関係一式:  $W=2.6\text{kg}$  想定

※ペール缶(20L):  $W=1.7\text{kg}$  想定

※剥離剤用養生シート:  $W=0.10\text{kg/m}^2$  想定

※ペール缶1個当たり最大容量:  $20.0-1.7=18.3\text{kg}$  想定

安全衛生保護具

作業日数

塗膜除去時 N=1日

素地調整時 N=1日

作業員数

N=2人（想定）

保護具関係数量

全面マスク（電動ファン付呼吸用保護具）	2人	=	2 台
呼吸用保護フィルター	2人×2日	=	4 個
使い捨て化学防護服	2人×2日	=	4 着
化学防護手袋	2人×2日	=	4 双
シューズカバー	2人×2日	=	4 足

仮設工

剥離剤用養生シート	補修図（その1）より	11.1 m2
		3 回

表面含浸工

補修図（その1）より

	補修サイズ	
	番号	面積(m2)
床版下面	①	7.63

## 橋面

### 断面修復 補修図（その3）より

	番号	損傷名	補修サイズ	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
			深さ (m)		
舗装	①	剥離	0.05	2.40	0.120

### 水切り工（EPDM系ゴム） 補修図（その1）より

	番号	損傷名	補修サイズ
			長さ (m)
床版下面	①	—	2.20
	②	—	2.34
	合計		4.54

### 橋面防水 補修図（その3）より

	番号	損傷名	補修サイズ	面積 (m <sup>2</sup> )
			深さ (m)	
橋面	①	劣化	0.005	21.06

安全費 交通誘導員B 交替要員なし

施工日数算出表より

N=1人×3日

3 人